

安全性生態毒性試験結果

CERI

受付番号 662-19-Y-2578

HR の生態毒性試験

総括報告書

2019年7月

一般財団法人化学物質評価研究機構

久留米事業所

本文書は正本を正確に転写したものです。
一般財団法人 化学物質評価研究機構 久留米事業所
2019年7月2日
試験責任者

総括

HR の藻類 (*Pseudokirchneriella subcapitata*)、オオミジンコ及びヒメダカの3種の生物を用いた生態毒性試験の結果、いずれの生物試験においても試験法の上限濃度である設定添加濃度 100 mg/L において試験生物に影響は認められなかった。以上の結果より、HR はいずれの試験生物に対しても、試験法での上限濃度では急性的な影響を及ぼさないと判断される。

試験概要

HR の生態毒性試験を、OECD (Organisation for Economic Co-operation and Development : 経済協力開発機構) のテストガイドライン No.201、202 及び 203 に従い、藻類、オオミジンコ及びヒメダカの3種の生物を用いて実施した。

その結果、いずれの生物試験においても試験法の上限濃度である設定添加濃度 100 mg/L において試験生物に影響は認められず、藻類に対する 50% 生長阻害添加濃度 (EL₅₀) は >100 mg/L 及び最大無影響添加濃度 (NOEL) は ≥100 mg/L、オオミジンコに対する 48 時間の半数遊泳阻害添加濃度 (EL₅₀) は >100 mg/L、ヒメダカに対する 96 時間の半数致死添加濃度 (LL₅₀) は >100 mg/L となった (いずれも設定添加濃度に基づく値)。

なお、上記の試験はいずれも OECD-GLP 基準 (Good Laboratory Practice : 優良試験所基準) の適合性確認を受けた試験施設において、OECD-GLP 原則に従いデータを取得したものである。

HR の *Pseudokirchneriella subcapitata* を用いる藻類生長阻害試験 (試験番号 98788)

2019年7月2日

試験責任者

HR のオオミジンコを用いる 48 時間急性遊泳阻害試験 (試験番号 98789)

2019年7月2日

試験責任者

HR のヒメダカを用いる 96 時間急性毒性試験 (試験番号 98790)

2019年7月2日

試験責任者